

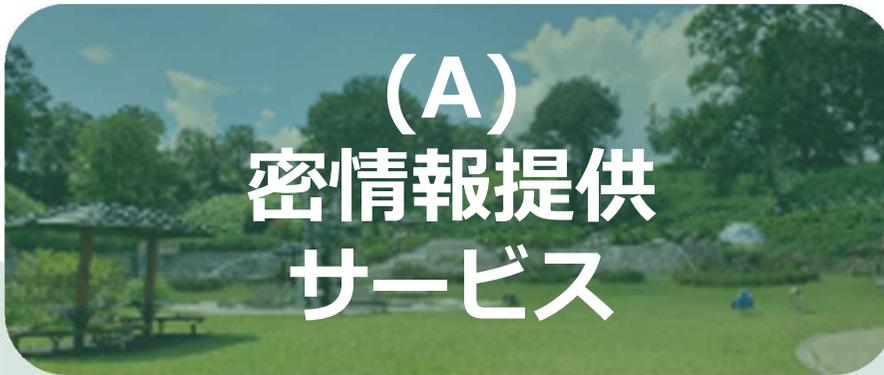
都市公園における医学分野と連携した新たな利活用可能性調査

**<実証B>**

**密情報提供サービスに関する実証実験**

**業務内容説明・進捗報告**

都市公園における、密集度の計測し利用者へ情報提供するための新たなサービス導入と、先進技術を活用した医学・健康分野のサービス導入に向け、以下の2つの実証実験を行います。



- ① 実証実験候補となる公園の特徴や利用状況を整理し、実証実験対象公園と実験場所を選定。
- ② 実証実験毎に、選定した場所での実証実験計画を立案。具体的には、必要となる既存技術／システムの適用について長所短所を整理し、各手法の適用可能性を明らかにし、実証実験の進め方と検証の方法を提案。

### 実証実験の進め方

既存技術やシステムの利用想定、収集データの種類、実験期間、被験者数や募集方法、個人情報の取扱、データベース構築などを検討。

### 検証方法

データの収集・分析に関する項目やアンケート調査項目などを検討。

## MBT Link PERSONAL (MBTLink社)

市販のスマートウォッチの着用を通じて**バイタルデータ**（脈拍、歩数）および**環境データ**（温度、気圧、騒音等）をリアルタイムに取得しベンチャー企業内の**サーバーで一元管理**する仕組みを構築。

ビッグデータとしてクラウド管理し、**SNSやアラーム機能**を使って、遠隔から医療従事者による**専門的アドバイス**が可能。



位置情報把握の見える化（イメージ）

例：榎原運動公園

被験者には、実証期間中の園内の施設の利用を促し、スマートウォッチを着用しながら、運動やイベントへの参加、親子でのふれあい、ランニングなどの園内の活動中の情報を計測。

計測情報を基に、個人毎に医師監修の健康アドバイスなどの情報提供の内容と提供方法を検討。

